

# 東堂陽一 議会便り 第9号 (2-2)

市内①  
桜木①

平成17年 10月 23日発行

1市2町が合併して半年が過ぎました。希望と期待を抱いての出発でしたが、いざ足を踏み入ると多くの課題が待ち受けています。理屈どおりに行かない事もあります。暮らしやすい掛川市建設のため、議会の役割、責任の重大さを認識しつつ是非々々で行動してまいりたいと思います。

## I. 9月定例会(9月5日～10月4日)

9月定例会が終わり、補正予算案、条例を始めとする35件の議案、32件の認定議案(決算報告)、意見書3件、陳情1件の計71件の審議を行いました。特に今回の決算は各種会計すべて1市2町分別々であるため大量の書類量であり審査に長時間を要しました。また、人事案件では空席であった懸案の収入役に前都市建設部長の山本君治氏を選任しました。

### 1) 平成16年度決算

歳入においては、税収は回復の兆しがあるものの、三位一体改革などの影響で地方交付税が大幅に減少した事などで厳しい財政状況下での予算執行でした。歳出決算額は人件費、扶助費、公債費の義務的経費が増加しており、旧1市2町とも4割前後、逆に投資的経費は減少しており3割前後となっています。この結果は将来に向けての都市基盤整備等にも不安を残すものであり、財政構造の変換、行財政改革等の一層の必要性を認識させるものでした。

### 2) 補正予算

総額6億4700万円余りの補正予算を承認しました。主な内容は以下の様です。

(1) 東保育園跡地造成工事追加	1,900万円
(2) 防災ラジオ購入費追加	220万円
(3) 国際交流基金積立金増	9,510万円
(4) 地域環境整備調整費増	7,018万円
(5) アスベスト調査委託料追加	500万円
(6) 都市計画街路測量設計委託料増	1,250万円
(7) 宮脇第一土地区画整理事業費増	25,600万円

(8) (仮称)南部幼保園建設事業費補助金増	4,498万円
(9) ゲースベルト・ヘンミー墓修復事業補助金追加	152万円
(10) 図書館図書購入費増	200万円

## II. 三つの対策本部

現在掛川市には三つの対策本部が設置されております。一つ目は**南北幹線道路**庁内検討委員会、二つ目は**子育て支援・少子化**対策本部、三つ目は**アスベスト**対策本部です。

**南北道路**は合併に際しての最重要課題と位置づけられていて、早急な整備が求められていることに対応したものです。

**少子化問題**はこれからの日本の最も心配な問題との認識がされています。私も一般質問等で広範で体系的な少子化対策・子育て支援体制の構築を訴えており、この要望に応えるものの一環であると期待しています。

**アスベスト問題**は最近急浮上してきた問題であります。時間が経つにつれ問題の深刻さが明らかになってきています。人命に関わることでもあり早急な調査・対策が必要です。当市にとって最重要と思われるこれらの三つの課題に対して全庁的な対応組織を作ったことは評価をして良いと思います。

### 〈アスベスト対策本部〉

市長を本部長、助役、教育長を副本部長とし全部長、全支所長、管財課長、環境保全課長、商工観光課長をもって対策本部が構成されています。

#### 第4 実施事業

対策本部は、目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 市内公共及び民間建築物(個人住宅含む)の吹きつけ石綿使用実態調査
- (2) 民間事業所におけるアスベスト使用製品の製造実態調査
- (3) 公共施設での飛散防止対策の実施
- (4) 民間事業所におけるアスベスト飛散防止対策の実施推進
- (5) アスベスト健康被害事業所からの報告聴取
- (6) 市民の健康被害相談への対応及びアスベストに関する各種相談
- (7) アスベスト飛散防止措置の啓発
- (8) その他必要な事業

◆裏面もあります◆

# 東堂陽一 議会便り 第9号 (2-1)

平成17年 10月 23日発行

## Ⅲ. 西部、南部幼保園建設と8園構想

(仮称)西部幼保園(掛川こども園)、および(仮称)南部幼保園(子育てセンター「ひだまり」)の建設工事が相次いで着工しました。当初は平成18年4月の開園を目指していましたが、三位一体の改革の影響で期待していた補助金が思うように得られず、来年度も再度申請したいということなどもあって、9月に開園をずらすこととしました。(掛川こども園の幼稚園部は4月に開園する。)旧掛川市は平成12年に策定した幼児教育振興計画のなかで、幼稚園保育園再編計画、いわゆる「8園構想」を打ち出しました。これに基づく今回の建設であります。総額80億円程度が予想される計画であり、財源問題が大きな課題として浮かび上がってきました。



## Ⅳ. ボランティア・NPO・協働

10月17日に生涯学習センターで恒例の”ふれあい広場”が開かれました。福祉、ボランティア団体の親睦や紹介が目的ですが、49もの団体が集まり日ごろの取り組みを発表しました。お年寄りから子どもまで約5,000人が訪れたということです。市民の関心が高いことを改めて感じさせられました。ボランティアやNPO活動に行政は随分と助けられていますし、これらを含めて市民と行政との協働を模索し、新しい形の掛川市を作っていく必要があります。今後この流れはますます加速していくことを実感しました。

## Ⅴ. 9月議会での私の一般質問通告要旨

新市になって連続2回目、議員になって通算6回目の一般質問をしました。今までに合併、行財政改革、少子高齢化対策、教育、環境問題等の質問をしまいましたが、今回は下記の項目を質問いたしました。

### 1. 合併に関連して

- (1) 合併して約6ヶ月。合併の手応え、問題点、課題について市長、助役の所見を伺う
- (2) 四役の役割分担は適正か。収入役の人選はどうなるか
- (3) 地域審議会の人選基準及び議会との役割の関係について

### 2. 行財政改革について

- (1) 今後10年間の職員数の削減見込の実現性について
- (2) 総人件費削減について
- (3) 職員の士気の向上について

### 3. 教育問題について

- (1) 「新市教育への提言」の具体化の現況はどうか
- (2) 道徳、倫理教育の充実についての考えを伺う
- (3) 新教科書の採択基準について

### 4. 予算について

- (1) 予算措置における優先順位の基準について
- (2) 地域環境整備調整費の増額幅について

以上について市長の見解を質しました。

## Ⅵ. 終わりに

前回の一般質問を終えた夜、見知らぬお二人の方(二人とも旧大東町の方で一人は女性、一人は男性)から電話をいただきました。私の一般質問を聞いて「感激した」「聞きごたえがあった。」というものでした。最初は抗議の電話かと思っていたので、思わぬ言葉にこちらが感激してしまいました。発言順番は一番最後の12番目(くじびき)で夕方になってしまい、傍聴人もまばらでしたが、関心を持って聞いていただき、とても元気づけられるうれしい出来事でした。

◆裏面もあります◆